

豊高SGH
フェアトレード班
通信
2015年
6月8日
第6号

フェアトレードとは途上国の生産者を対等なパートナーとし適正な価格で継続的に取引してフェア（公正）なトレード（貿易）をめざす取り組み。

フェアトレード講演会感想2

☆フェアトレードの過程を細かく聞いて、今商品を買うのは複雑だからフェアトレードをもっと取り組んで行くべきなんじゃないかなと思いました。
 (九組I)

☆フェアトレードの日本での認知度はイギリスに比べるとかなり低い。カカオを作っている人に与えられるお金が一入あたり約八円くらいしかないことに驚いた。まだまだフェアトレードについても改良が必要。(八組S)

☆フェアトレードで作られた商品や資料などを通してフェアトレードについて色々と学べました。グループで値段を決めたりしたのは楽しかったし、よかったです。
 (九組K)



☆世界で一億六八〇〇万人の子どもが児童労働していることが印象に残った。人権意識が国によって違う。(八組W)

☆カカオの栽培の話が印象に残りました。自分の手元に残るお金があまりにも少ないと思いました。バングラデシユの手芸品も、すごい技術なのにお金が少なすぎると思いました。(七組 N)

☆援助でも段階があつて無償で食糧などを提供する緊急援助だけでなく、その後普通の生活に戻れるような援助があり最終的に自分たちで自立できるようにフェアトレードなどで支援していく方法があるのだと思えました。またヨーロッパでは人権意識が高くフェアトレードの認知度も



高いのに日本ではあまりマスコミもあまり取り上げないと知って日本でもこういうことに対する関心を持つてくれたら少しはよくなって行けるのかなと感じました。(二組B)

インドネシア研修旅行のお知らせ
 来年一月四日から九日まで、インドネシアに行って現地のフェアトレードや歴史、文化について研修します。参加してグローバルな視野を持とう。
 問い合わせは社会科中川・伊田まで

☆フェアトレードを妨げる問題が日本、世界に限らずさまざまあつて、人間が生きるための最低限の条件を満たした上で社会的に自立するための支援をしなければならぬ。世界から見ても日本はまだまだフェアトレードが浸透していない。先進国の支援が増えることで途上国の経済や世界に貢献することが出来る。売り上げのほとんどが仲買人とえられる農家がほとんどで、賃金をもらっていない現実を改善しなければならぬ。(二組I)

実は、チョコレートの原料のカカオをつくっている多くの人たちの暮らしはね...

家族を助けるために僕らも力才能園で働かなくちゃいけないんだ。学校に行きたい...

1 カカオ

※いま世界では、6人に1人、およそ10億人の人々が1日100円以下「1日1食」しか食べられず、腹も満たない暮らしをしています。

☆フェアトレードが最初からあつたわけではないということに驚いた。そしてフェアトレード商品には共通のマークがついているということを知った。ただ単にフェアトレードという言葉だけをざっくりとしか知らなかったものでこんなにも多くの商品があるのに驚いた。歴史のことも知れてよかった。日本は海外の国々ほどフェアトレードに貢献しておらずこのままではいけないと思う。(六組A)

☆能力がある人となない人の間の格差は同解決したらいいのだろう。(八組O)

